

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>	
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.35</b>		-	<b>3.1</b>	
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15	<b>2.2</b>	1.00	<b>2.6</b>	
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.41	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>1.7</b>	0.41	<b>1.4</b>	0.50		
1 開口部遮音性能				1.0	0.63	1.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.37	1.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20		
1.3 吸音		床、天井の2面に吸音材の使用がある		<b>4.0</b>	0.18		-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.2</b>	0.35	<b>2.5</b>	1.00	<b>2.2</b>	
2.1 室温制御				<b>3.5</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50		
1 室温		窓システムSC=0.339.U=3.14W/m <sup>2</sup> K.外壁U=0.65W/m <sup>2</sup> K 性能表示等級4相当		3.0	0.40	3.0	0.63		
2 外皮性能				5.0	0.26	4.0	0.38		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.34		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>4.3</b>	0.25	<b>3.9</b>	1.00	<b>4.2</b>	
3.1 昼光利用				<b>4.2</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.30		
1 昼光率		事:昼光率≥2.5%、住:昼光率≥2.0%		5.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口					-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		
1 昼光制御		事:ブラインド+庇、住:カーテン+庇		4.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		事:500lx		<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御		事:1作業単位の制御・リモコンスイッチで制御可能 住:室内の複数部分に対してスイッチで細かい制御が可能		<b>5.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.3</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.3</b>	
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.51	<b>3.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	0.38		
1 換気量				3.0	0.35	3.0	0.33		
2 自然換気性能				1.0	0.30	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		事:各種排気との異方位に設置かつ離隔距離6m以上を確保		5.0	0.35	5.0	0.33		
4.3 運用管理				<b>5.0</b>	0.18		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00		-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>	
<b>1 機能性</b>				<b>2.9</b>	0.40	<b>4.6</b>	1.00	<b>3.0</b>	
1.1 機能性・使いやすさ				<b>1.7</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				1.0	0.30		-		
2 高度情報通信設備対応		住:各住戸にGbitクラスのブロードバンド環境を整備		1.0	0.30	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	0.39		-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.9</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観		事:天井高2.8m+屋外の情報を得られる窓の設置、住:天井高2.8m		4.0	0.30	5.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自販機		5.0	0.30		-		
3 内装計画				3.0	0.39	3.0	0.50		
1.3 維持管理				<b>3.5</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い床材の採用、雨だれ対策等		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.9</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		厨房排気・屋外系統に溶融アルミニウム-垂鉛銅板、浴室用排気系統に硬質塩化ビニル管を採用		4.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種以上にC以上を採用		4.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>3.4</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		節水器具の採用、給水の系統分け、受水槽に災害用水栓の設置		4.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		光・メタルの引込、浸水対策、TVによる災害情報入手		4.0	0.20		-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.4</b>
3.1 空間のゆとり			<b>4.6</b>	0.27	<b>4.6</b>	0.50	
1	階高のゆとり	工:平均階高3.9m以上、事:基準階階高3.9m以上、住:基準階階高:3.0m以上	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦壁長さ比率<0.3	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.27	<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.45	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.35</b>	-	-	<b>3.0</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		緑地の確保により、地表面温度の上昇を抑制	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.8</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.60	<b>4.8</b>	0.20	-	-	<b>4.8</b>
2 自然エネルギー利用			<b>2.8</b>	0.10	-	-	<b>2.8</b>
3 設備システムの高効率化		非住宅部分のBEIm=0.70、住宅部分のBEIm=0.87	<b>4.0</b>	0.50	-	-	<b>4.0</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	0.91	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	0.09	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
1 水資源保護			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		自動水栓・節水コマに加えて節水型便器を採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>3.2</b>	0.60	-	-	<b>3.2</b>
2.1 材料使用量の削減		BCP柱や合成スラブデッキ等を採用	5.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS工法、フリーアクセスフロアの採用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP<0.01、GWP<50の発泡剤を使用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=81%	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
2 地域環境への配慮			<b>3.3</b>	0.33	-	-	<b>3.3</b>
2.1 大気汚染防止		排出基準の90%以下に抑制	<b>4.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.2</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車・駐輪場の確保、荷捌き車両の駐車スペースの確保、渋滞緩和に配慮した導入計画	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告物照明の設置なし	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	